

1 日時 平成 30 年 6 月 7 日（木）10:00～12:00

2 場所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校運営協議会委員紹介
- (3) 事務局教職員自己紹介
- (4) 学校運営協議会の運営について
- (5) 会長・会長代理選出

4 協議 年間テーマ『地域との連携・協働の取組み』

授業見学 高等部→小学部→中学部の順に見学

協議内容及び意見交換（・委員）

- ・地域と共にあること、地域も学校を支えていけることが理想である。
- ・地域の立場からすると、学校が何をしている場所かわからないため、支援学校についての地域の理解度は低いと感じる。だから学校からの発信をもっとしてほしい。
- ・学校で栽培している作物などを地域向けに販売などできないのか。
→PTAや教員向けの販売学習が多くなっている。（校長）
- ・地域の人材を活用していくために、一緒に畑で栽培等ができれば。
→販売のための方法、地域のニーズ、地域の協力を共に考えていきたい。（校長）
- ・授業の様子を見て、失敗をしないようにして、成功体験を積んでいける指導を行っていた。社会に出たときには、失敗する場面もあるのでそのようなときに、失敗しても自分で誰かに相談したり、自分で気持ちを立て直したりするなど、失敗した後にはどうするかという力を身につけてほしいと思った。
- ・就学前と学校の交流連携を進めていくことが大切である。
- ・地域の方の中には身近に障がい者がいない人も多く、障がい者や支援学校に興味関心がない人が多いのではないかと。地域との繋がりが多くある例を参考にしてみるのもよいのではないかと。
- ・地域の集まりに参加した時も、高齢者に対するサポートの話は多く話題になるが、障がい者については、話にすら出なかった。関わりの少なさということがひとつの要因なのではないかと。学校以外の地域の近隣の付き合いの中で悩みを相談する場所があればよいと思う。
- ・地域の人が気軽に学校見学できたら嬉しい。
- ・学校(教員)は「地域の方々がこの学校に対して何を期待しているのか」と、地域の方々は「学校(教員)は地域にどのようなことを期待しているのか」と双方の観点をもって協議する必要がある。

5 報告

①平成 30 年度学校経営計画について

「安心・安全+快適」地域の中で期待される役割を果たしていく。(校長)

⇒、委員の方より承認をいただいた。ただし、昨年度までの取り組みである「わかりやすい授業づくり」を加えておくこと

②平成 30 年度学校教育自己診断について：データを集約して結果を伝えていく。

③平成 31 年度教科書選定について：道徳の教科書も含めて適切な選定を行うため、校内検討委員会を設置。

④平成 30 年度進路指導の取り組みについて：平成 30 年度高等部 3 年生の進路先希望等を報告。

6 意見交換・まとめ

- ・協議委員の方々からの提言を受けて、地域と学校の双方向的の観点の取り組みを具体化する。

7 校長あいさつ

※ 今後の予定

☆第 2 回学校運営協議会 平成 30 年 11 月 午前中に開催予定

☆第 3 回学校運営協議会 平成 31 年 2 月 午前中に開催予定